



らっこ組さんが劇遊びを発表

2月6日、らっこ組さんの劇遊びの発表がありました。劇は「いえでだブヒブヒ」というお話で、お母さんに叱られたブタの兄弟は家出をして、他の動物の家の子どもになろうとするのですが、最後には「自分の家が一番よいこと」に気づいていくという心がほっこりするお話です。らっこ組のお友だちは、ブヒブヒやカーカーなど動物の鳴き声を取り入れて、セリフや歌、動作など工夫して演じていました。年少のお友だちもここまでなりきってできるのかとわくわくしながら見ていました。歌も表現豊かで楽しい雰囲気が伝わってきました。らっこ組の保護者の皆様から温かい声援や拍手をいただき、子どもたちは嬉しそうでした。らっこ組の皆さんの成長が感じられる素晴らしい劇遊びでした。



年長さんが電車の乗車体験

2月4日、年長さんが西鉄電車の乗車体験をしました。これは、乗り物を実際に利用することで、公共のマナーを知ることがねらいです。乗車したのは、西鉄二日市から太宰府までの区間です。また、行きは園から西鉄二日市駅まで、帰りは太宰府から園までは貸切バスを利用しました。たまたま子どもたちが乗車した電車の車両が「旅人」で一両まるまる貸切状態になりました。クラスの友だちと一緒に電車に乗れたのが嬉しかったようで、電車の中ではニコニコ顔の子どもたちでした。太宰府では、天満宮周辺を散策して、旅行気分を味わいました。



年中さんが茶碗づくりに挑戦

年中さんが、茶碗づくりに挑戦しました。まずは、窯焼き用の粘土を棒で薄く平らに伸ばします。次に、薄く平らに伸ばした粘土を金属の小さなボールに巻き付け、おわんの形を作ります。最後に、おわん状になった粘土の底に円型の枠で切り出した粘土をつけて茶碗の出来上がりです。円型の底には自分の名前を書き入れました。茶碗の底にハートや星のマークを入れたお友だちもいました。これで自分だけのオリジナル茶碗の完成です。完成した茶碗をしばらく乾かして、園にある電気釜で焼き上げます。どんな茶碗に焼き上がるか楽しみです。



実習生、53名を受け入れました。

1月28日から30日までの3日間、本学初等教育専攻の学生の見学実習を受け入れました。年長さんと年中さんのクラスに3名から4名の学生さんが入り、子どもたちと触れ合いました。学校の先生を目指す学生さんだけに子どもたちとすぐに仲良くなり、一緒に遊んだり、園庭で駆け回ったりしていました。子どもたちもお姉さん先生と遊ぶことができ、大喜びでした。見学実習を終えた学生さんたちからは、「子どもたちと実際に触れ合えて、貴重な学びの機会になりました。」

と感謝の言葉が聞かれました。見学実習をはじめこうした大学との連携は附属幼稚園の役割の一つです。

